

かがわ 産業情報 21

2024
SUMMER

7

vol.93

年4回発行

成功への道筋が見えてくる！
かがわの産業界の今をお届けする

TOP NEWS

理事長が行く
「第31回 芦原科学賞」
芦原科学大賞 受賞者インタビュー

Kagawa Industry Information 21

特集

香川県発スタートアップを目指してみませんか

☀️ かがわ発！元氣創出企業

「有限会社高島産業」

目の健康をサポートする天然のルテインが10倍！
毎日手軽に摂り続けられる機能性表示食品を開発



公益財団法人
かがわ産業支援財団
KAGAWA INDUSTRY SUPPORT FOUNDATION

<https://www.kagawa-isf.jp>



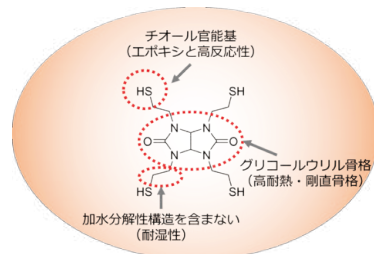
第31回 芦原科学賞
芦原科学大賞 受賞者インタビュー

「第31回 芦原科学賞」で大賞を受賞(テーマ:スマートフォン・半導体機器の高機能化に貢献する新規樹脂硬化剤の開発)された四国化成工業株式会社の熊野氏、松田氏、武田氏、奥村氏、藤川氏、青木氏、荒井氏と推薦者である四国化成ホールディングス株式会社渡邊社長を訪ね、近藤理事長が開発までの苦労話やこれからの抱負、展望などについてお話を伺いました。

四国化成工業株式会社(丸亀市)



1947年に化学繊維レーヨンの原料である二硫化炭素のメーカーとして創業しました。当時主流となっていた製法を改良し、革新的な技術の発明によって起業したことが企業理念「独創力」の原点となっています。その後、塩素化イソシアヌル酸(殺菌消毒剤)、イミダゾール(エポキシ樹脂硬化剤)を国内で初めて事業化し、無機化成品・有機化成品・ファインケミカルの3つの分野で事業を拡大してきました。2023年1月には化学品事業会社として分社化、近年は先端技術を支える高付加価値な分野への展開を進めています。



▲新規樹脂硬化剤の化学構造説明図

はじめに

理事長: この度は、芦原科学大賞の受賞、誠にありがとうございます。早速ですが、あらためて受賞された感想やお気持ちをお聞かせください。

熊野氏: 今回の受賞により、当社の事業内容や技術力の高さを広く知っていたことが非常に良かったと思います。

松田氏: 今回の成果は、他部署・他社など多くの方の協力があった成し遂げられたものであり、関係者の皆さんに大変感謝しています。

武田氏: 我々の開発品は製品としての形が見えづらい原材料であることが多く、家族などへの説明が難しかったのですが、今回の受賞により形として残すことができ非常にうれしく思っています。

奥村氏: これまで何をしているか周囲に伝わりにくかったのですが、受賞後に近くのうどん屋さんからお祝いの言葉をいただくなど、周囲の認知が高まり喜ばしく思っています。

藤川氏: 開発を担当した製品が評価され、非常にうれしく、今後も更に活躍する製品になることを期待しています。

青木氏: 成果について、社内では売上げなどの形で知ることができますが、今

回の受賞で家族へも話をできたことが非常によかったです。

荒井氏: 営業は、直接ものづくりを担う立場ではありませんが、研究開発部門、製造、品質保証などたくさんの方と一緒にお客様のニーズに応えるために頑張ってきた結果、名誉ある賞をいただくことができ、大変うれしく、記憶に残る仕事になりました。改めて関係者の皆様への感謝の思いでいっぱいです。

渡邊社長: この分野はわかりづらく説明が難しいのですが、この製品があるからこそ実現できたデバイスや性能があります。今回のメンバーは矜持を持って開発に取り組んでおり、今回それらを認めてもらい、大変うれしく感じました。

技術開発のきっかけや経緯

理事長: 今回の技術開発に当たってのきっかけや経緯についてお聞かせください。

熊野氏: 我々のチームは新たな事業の柱を立ち上げることを目的に2004年に発足しましたが、なかなか成果は出ていませんでした。そのような状況においても、我々の得意としてきた材料開発技術を活かし、新たなトライを続ける中で開発が始まりました。

CONTENTS

2024年7月 vol.93 発行(年4回発行)

かがわ産業情報 21

7

TOP NEWS

理事長が行く 第31回 芦原科学賞 芦原科学大賞 受賞者インタビュー 1

特集

香川県発スタートアップを目指してみませんか 3

①スタートアップ等経営相談窓口 3

②創業者の夢を開業までサポート

令和6年度「かがわ創業塾」を開講 3

③香川県スタートアップスクエア事業 入居者の募集 4

④令和6年度「起業等スタートアップ支援補助金(地域課題解決型)」の

2次募集の受付開始 4

支援事例紹介

香川県プロフェッショナル人材戦略拠点 活用事例の紹介 5

機能性表示食品の届出支援事例の紹介 6

財団の活動報告

新かがわ中小企業応援ファンド等事業令和6年度の助成対象事業決定 6

財団からのお知らせ

新かがわ中小企業応援ファンド等事業

令和6年度後期助成事業の募集 6

農山漁村発イノベーション都道府県サポート活動事業「人材育成研修会」の開催 7

「第2回 機械要素技術展[九州]」香川県ブース出展者を募集 7

食品商談会参加者の募集 8

スーパーマーケット・トレードショー2025出展者の募集(予定) 8

「四国モノづくり合同商談会2024 in EHIME」参加発注企業の募集 8

国際取引相談窓口の紹介 9

令和6年度「商品化技術テーマ調査事業」の募集 9

第32回「芦原科学賞」表彰対象者の募集 9

令和6年度「高度産業人材育成事業(IT研修)」の参加者の募集 10

~中小企業・小規模事業者の方々へ~香川県よろず支援拠点を是非ご活用ください!! 11

令和6年度「かがわ成長する企業大賞」候補企業の募集 12

かがわ元氣創出企業

目の健康をサポートする天然のルテインが10倍!

毎日手軽に摂り続けられる機能性表示食品を開発

「有限会社高島産業」 13

開発の成果

理事長：今回の開発の成果や、これまでの商品との違いなどを教えていただけますか。

熊野氏：従来、スマホ等に使われる電子材料用の接着剤は150度以上の温度をかけないと接着しませんが、電子機器の不具合抑制のため接着温度の低温化が必要となりました。これに対し、我々が開発した製品は低温で接着できるとともに性能も維持できるものであり、従来になかった材料ということで評価されました。

開発時の苦労話

理事長：開発に当たり、苦労された点や大変だった点をお聞かせください。

熊野氏：本件はお客様の評価スピードが非常に速く、短期間で量産化を行いました。我々にとって初の製品化ということもあり、短期間でのスケールアップ製造は様々なトラブルに対応する必要があり、大変苦労しました。

松田氏：製品の量産化や立ち上げ後、工場部門への移管が完了している場合は、製品の生産に関わる業務を工場部門の各担当部署で分業して行います。しかしこの製品は実験室のサイズから、短期間で工場での量産化を行い、顧客へ安定供給を続ける必要があったことから、工場部門へのスムーズな移管作業が難しく、少数のメンバーで複数年にわたりトラブル対応と量産を並行して実施していた点が苦労したところです。

仕事の喜びや誇り

理事長：日々の仕事の中で、喜びや誇りを感じるのはどのようなときでしょうか。

荒井氏：製品がお客様に採用され、世の中に出たときに大きな喜びを感じます。今回は、スマートフォンの進化に貢献することができ、スマートフォンのテレビCMを見ながら成果を家族に自慢しました。最初の採用から数年が経過しましたが、今でも街で採用された製品を見かけるたびに、お客様と一緒に成果を称えあった時を思い出すとともに、誇りと喜びを感じています。

武田氏：開発者として仮説を立てて検討を行っており、自分の仮説どおり結果が得られ、更にお客様に評価されたときなど、その積み重ねに喜びを感じながら取り組んでいます。

奥村氏：電子材料については、以前に比べて、開発により一層のスピードアップが求められており、関係者全員で力をあわせて案件に次々対応していくときにやりがいを感じます。

藤川氏：いろいろな課題に対して、自分独自のアイデアでクリアできたときにやりがいを感じます。それができるようになったのも、今回の製品を担当して経験したことが活かされています。当時の苦労が今の自信につながっています。

青木氏：お客様が製品を評価して認めていただいたときに喜びを感じます。

財団への期待

理事長：地元の産業支援機関である当財団に対して、こういうことに取り組んでほしいなどの要望がありましたらお聞かせください。

渡邊社長：今回の製品も県内企業に製造を一部委託しており、我々が自分たちですべてのことを実施できるわけではないので、協力できる企業の紹介やコーディネートをしていただくことは今後もお願いします。

理事長：当財団では、受注に関する県内企業のマッチング事業を行っています。また、貴社が研究開発することで県内の中小企業も新しい仕事ができるレベルアップできると考えますので、我々も引き続きしっかりサポートできるように頑張っていきます。

熊野氏：我々だけでできることは限られており、今も香川大学の装置を使用させていただくなど、様々な外部機関と連携して検討を進めています。今後も大学と積極的に連携したいと考えており、支援していただければと思います。

理事長：当財団が管理しているFROM香川では、香川大学が地元企業と一緒に研究することを支援しています。現在は満室ですが、産学官の連携による研究であれば、県の支援により無料で研究室を利用できます。

今後の抱負や展望

理事長：今後の抱負や展望などについてお聞かせください。

熊野氏：当社は「独創力」を理念として、独自技術をベースに成り立っている企業です。今回の受賞製品以外にも様々な新しい技術や材料を開発していますので、今後も本賞に応募し、当社の技術をもっと知っていただきたいと思います。

松田氏：当社では、「Challenge1000」という長期ビジョンを掲げ、売上高1000億円などの目標を立てており、メンバー丸となってしっかり達成していきたいと考えています。その中で、今後も本賞を受賞できれば非常にうれしいですし、香川県の産業の振興や技術の発展にもつながるものと信じておりますので、確実に達成できるよう励みます。

武田氏：今回の受賞は大きな成功体験として私の中で残っており、今後は、若い世代の人も同様の成功体験ができるように賞へのチャレンジなどをサポートしていきたいと思っています。

渡邊社長：業績という営業成績の数字で見られがちですが、当社はそこに開発が介在しています。R&Dセンターには、毎月の技術検討会において各チームの発表や悩み事に対して他のチームが違った視点から助言するなど、開発全体で新しいものを作っていくというムードがあり、これも大きな力だと思っています。また、社長就任時に「社長の考えを確かめる」ということでチームリーダー達との懇親会が企画されましたが、そうした上下の隔たりのない自由な空気が開発には必要と考えます。

理事長：今日は素晴らしいお話をありがとうございました。これからも幅広い知見により新たな技術開発に取り組まれ、貴社が益々発展されることを大いに期待しております。



芦原科学賞贈呈式の大賞受賞者記念写真
(左から荒井氏、藤川氏、渡邊社長、熊野氏、松田氏、奥村氏、青木氏、同行者2名)



懇談風景



インタビューを終えて記念撮影
(左から藤川氏、松田氏、渡邊社長、近藤理事長、奥村氏、武田氏、熊野氏、荒井氏、青木氏)

1 スタートアップ等経営相談窓口

中小企業診断士などの専門家が、創業前から創業後のサポートまで、起業家の成長段階に応じたきめ細かな相談対応を行う「スタートアップ等経営相談窓口」を開設しています。事業者様のお困りごとや経営に関する相談もお受けしていますので、お気軽にお問い合わせください。



日 時

月曜日～金曜日（年末年始・土日祝日を除く）
9:00～17:00

場 所

香川産業頭脳化センタービル2階
（高松市林町2217-15）

相談時間

1回当たり原則60分（相談内容等に応じて設定）

対応者

中小企業診断士等の専門家による対応

対象者等

創業予定者、中小企業者など、法人、団体、個人、業種は問いません。

費 用

無料

※原則、窓口にお越しただいての対面相談（事前予約制）となりますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

2 创业者の夢を開業までサポート 令和6年度「かがわ創業塾」を開講

香川県からの補助を受け、県内での創業を支援する「かがわ創業塾」を毎年開講しており、令和6年度の「かがわ創業塾」については8月2日（金）から開講します。

「かがわ創業塾」では、講義を通じて創業に必要な知識やノウハウを体系的に習得しながら、先輩创业者との交流や、創業計画書を実際に作成していくカリキュラムを通じ、創業したい方の夢が形になるよう応援します。講師は、中小企業の経営相談に対応している経営・マーケティングなどの専門家等で、相談事例も交えた実践的な講義を行います。そして、塾開催中だけでなく、終了後もこれらの専門家等が無料で相談に対応するなど、創業に向けて当財団が万全のサポートをしていきます。参加費は無料となっておりますので、御興味のある方は、ぜひ一度お問い合わせください。

1 これまでの開講状況

「かがわ創業塾」は平成27年から開催しており、今年で10年目を迎えました。これまでの9年間で350名の方が受講され、232名の方が修了されています。また、本塾の受講生のうち、121名の方から実際に創業されたとの御報告をいただいています。

	1年目(H27)	2年目(H28)	3年目(H29)	4年目(H30)	5年目(R元)	6年目(R2)	7年目(R3)	8年目(R4)	9年目(R5)	期間累計
受講者数	56名	34名	53名	34名	58名	29名	28名	27名	31名	350名
修了者数(全5回出席)	30名	24名	32名	18名	28名	27名	23名	26名	24名	232名
創業者	9名	11名	9名	14名	17名	17名	15名	15名	14名	121名

※平成27年は、創業塾を夏季と秋季の2回開催しており、表中の人数は2回分の合算値です。



2 令和6年度のかがわ創業塾について

日 時

令和6年8月2日（金）
8月9日（金）、23日（金）、30日（金）、9月6日（金）

場 所

香川産業頭脳化センタービル2F
一般研修室（高松市林町2217-15）

定 員

30名（※応募者多数の場合は、選考・抽選制となります。）

参加費

無料

※受講者は、原則として、5日間全て受講してください。全回受講し、修了要件を満たした方には、起業等スタートアップ支援補助金の補助要件である「創業支援塾等の受講」を証明する修了証を発行します。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710

3 香川県スタートアップスクエア事業 入居者の募集

香川県では、県経済を牽引するようなスタートアップを創出し、起業地としての香川の魅力をより一層強化するため、「香川県スタートアップスクエア事業」において、香川インテリジェントパークを県内起業家の集積地とすることを目指しています。

ついては、創業後5年以内の事業者及び創業後5年を超え10年以内であって事業の多角化を行う事業者等を対象に、令和6年4月以降に起業家向けのオフィスに新たに入居する場合は、5年間使用料を減額(1年目:90%減額、2年目:70%減額、3年目:50%減額、4年目:30%減額、5年目:10%減額)しますので、是非、ご活用ください。

ネクスト香川	ネクスト香川	香川産業頭脳化センタービル
募集 2室	募集 1室	募集 4室
一般型インキュベート工房	情報通信型インキュベート工房	ITスクエア
新技術や新製品の開発を目指す企業や新規創業される方に最適なスペースを提供する県有施設	情報処置関連事業を営もうとする企業等に活動の拠点を提供する県有施設	ITを活用した事業の創業、新分野進出、新サービスや新製品の研究開発などに取り組むためのスモールオフィス
入居資格: 創業5年以内かつ創業若しくは新事業の開拓を目的として新技術等の研究開発を行う者又は情報処理関連事業の研究開発を行う者(詳細はお問い合わせください)	入居資格: 利用を開始する時点において、情報処理関連事業を新たに営む者又は新たに営んだ日以降5年を経過していない者若しくは新分野へ進出しようとする者等(詳細はお問い合わせください)	入居資格: ITを活用する者であって創業5年以内の者又は創業後5年を超え10年以内であり事業の多角化を行う者。(詳細はお問い合わせください)
入居期間: 3年間(最長13年間)	入居期間: 3年間(最長5年間)	入居期間: 1年間(最長10年間)
部屋数: 10室(約64~137㎡)	部屋数: 4室(約15~30㎡)	部屋数: 11室(約6.5㎡)
無料駐車場: 部屋の数により2~4台	無料駐車場: 各室1台	無料駐車場: 各室1台
賃料: 1,560円/㎡・月(5年目まで) (減額を受ける場合の1年目 156円/㎡・月) 1,870円/㎡・月(6年目~)	賃料: 1,560円/㎡・月 (減額を受ける場合の1年目 156円/㎡・月)	賃料: 20,950円/室・月(5年目まで) 学生は15,710円/室・月(同上) (減額を受ける場合の1年目2,095円/室・月(学生は1,571円/室・月))
光熱水費: 実費	光熱費: 実費 その他: インターネット無料接続	光熱費及び共益費: 賃料に含む その他: インターネット無料接続

*各施設とも、入居希望月の前月上旬までにプレゼンテーションを伴う入居審査により入居を決定します

申込みに関するお問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 TEL.087-840-0391 <https://www.kagawa-isf.jp/>

各施設に関するお問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 施設管理課
高松市林町2217-15 TEL.087-869-3700 <https://www.kagawa-isf.jp/>

4 令和6年度「起業等スタートアップ支援補助金(地域課題解決型)」の2次募集の受付開始

令和6年4月1日から令和6年12月31日までに、県内で起業、事業承継又は第二創業を行う者に対して、その起業等に要する経費の一部を補助します。

補助対象事業

地域に蓄積された強みなど、地域資源を生かして、地域活性化関連、子育て支援、まちづくりの推進などの社会的事業分野において、デジタル技術を活用し、地域の課題の解決に資する事業

補助金上限額

200万円(補助率1/2)

対象者

県内における起業者等

対象経費

人件費、事業費、委託料

募集期間

令和6年6月20日(木)~7月24日(水)17:00必着

伴走支援について

7月17日までに財団の伴走支援員等の指導を2回以上受け、事業計画書のブラッシュアップを行ってください(必須)。
伴走支援員等への相談予約窓口087-840-0391

WEBサイト

<https://www.kagawa-isf.jp/support/fund/startup/>

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710

香川県プロフェッショナル人材戦略拠点 活用事例の紹介

香川県プロフェッショナル人材戦略拠点は、香川県からの委託により平成27年12月に当財団内に開設され、県内中堅・中小企業の成長と地域経済の活性化を目指し、地域の産業支援機関・金融機関・人材ビジネス事業者と連携しながらプロフェッショナル人材の採用をサポートしております。

拠点開設以降、多くの企業様から人材にかかわる相談を受け、令和6年3月までの相談件数は2,067件、成約件数は696件となっております。この活用事例は、プロフェッショナル人材を採用されました企業様から、具体的な内容をお聞きしたものです。

基幹システムの新規導入および IT 化の推進、啓蒙による業務の効率化

1 抽出された経営課題

システム管理権限の一局集中によるシステム管理の後継者不足



以前の社内システムは担当役員が独断で構築してきたこともあり、仕様を十分に理解できている社員が少なく、システムを十分活かしきれていませんでした。しかも会社の規模に対してオーバースペックなシステムであったり、現場の要望が十分に反映されていないなど、いくつかの問題点を抱えていたため、早急に改善していかなければなりませんでした。システム部門は主にシステム導入後の管理がメインで、システム構築ができる担当役員の後継者が育っておらず、中核人材の採用を急ぐ状況にありました。

2 プロ人材に与えられたミッション

システム管理の中核人材として業務改善を推進



社内システムは主にITベンダーから導入していますが、仕様打合せや価格交渉は担当役員が中心となって行ってきたため、それを後継できる人材が育っていませんでした。プロ人材の谷口氏は以前、ITベンダーに在席してSE職および営業職を経験していたため、社内システムの設計、立上げ、ベンダーのコントロールなどを熟知しており、担当役員の考えがすぐ理解できるなど後任者としてうってつけでありました。システムに対する現場の要望に対しても費用、規模などがすぐにつかめ、業務改善のスピードアップにつなげることができる人材でした。

3 プロ人材がもたらした効果

基幹システムの刷新と社内啓蒙による情報化の推進



谷口氏はシステム室長に就任し、現在3名体制で業務の遂行にあたっています。今年3月には独自色の強かった旧基幹システムを見直し、標準的なパッケージシステムに置き換える大規模な改善を行いました。その際、前職の経験を活かして、ITベンダーとの打合せや交渉を円滑に進めることができました。また現場作業をみずから経験して理解した上で効率化に取り組む積極的な姿勢を見せている上、情報化に関する社内教育の取り組みについてはAI技術の講座を地元企業と連携して開催するなど、最新の技術を取り入れることにも余念がありません。

谷口氏は社内ITシステムの維持管理をすると共に、社内からの問い合わせの対応、現場作業のムダの削減、社内の情報システムの活用啓蒙など、多岐に渡って活躍しています。



出典:「プロフェッショナル人材活用ガイドブック2024」(内閣府地方創生推進室)



株式会社 Wave Energy

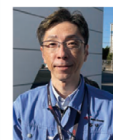
配電盤の設計・製造及び再生エネルギー関連装置の開発・製造

所在地 香川県三豊市

創業年 1972 年

従業員数 170 名

プロ人材【入社時のプロフィール】



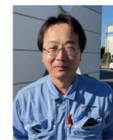
たにぐち りょうたろう
谷口 僚太郎 氏
役職名: 管理部システム室室長
年齢: 40 歳代
選流ルート: Uターン
家族構成: 妻、息子
出身地: 香川県
業務遂行手段: 事務所での業務

主な経歴:

IT 企業でシステムエンジニア職、営業職に従事

いずれは地元に戻りたいと思い、Uターンでの転職を考えていました。地方では前職のような IT 営業職の求人が少なく、企業のシステム担当となって社内の IT を推進する方が、これまでの経験を活かせると考えました。当社は新しいことに積極的に挑戦する社風があり、様々な IT 施策を積極的に打ち出せることにやりがいを感じています。地元香川にしながら最先端の IT 技術に関わることができることも魅力です。

企業からの声



管理部長 総務課長
みつはし たかし
三谷 敏 氏
以前の社内管理システムは、担当役員が単独で構築してきたため周りの担当者は十分理解ができてい

ませんでした。そこで、担当役員から技術を引継ぎ社内で共有化する取り組みを進めていたのですが、肝心の担当者が早期退職することになったため、後継者を早急に見つけなければならない状況となり苦慮しておりました。そんな中、SE とベンダー営業の両方に通じた谷口氏の紹介があり、当社の要望にマッチしていたため採用に至りました。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 香川県プロフェッショナル人材戦略拠点
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル1F TEL.087-867-3520 FAX.087-869-3703

機能性表示食品の届出支援事例の紹介

当財団が設置している「新機能性表示食品開発相談センター」が消費者庁への機能性表示食品の届出を支援し、下記の内容で届出が完了し機能性表示食品として製造販売されている3商品を紹介します。

これまでに、機能性表示食品としては全国で約7,000件の商品が受理されていますが、県内企業の届出商品は今回の商品を含めて54件となりました。うち34件は当財団が支援しました。

商品名	しあわせマドレーヌ	ルーヴの焼ドーナツプレミアム	伊吹島いりこ入り天ぷら
事業者名	(株)シカ	(株)ルーヴ	(株)おがた食研
届出日	令和5年11月24日	令和5年10月31日	令和5年12月25日
機能性関与成分	アルロース(希少糖)	アルロース(希少糖)	・DHA・EPA、GABA
機能性内容	◎食後の血糖値上昇抑制	◎脂肪の燃焼を高める ◎食後の血糖値上昇抑制	◎DHA・EPA(中性脂肪を低下させる) ◎GABA(高めの血圧を低下させる)
1日摂取目安量	1個(42g) (アルロース5gを含む)	60g(1個) (アルロース5gを含む)	1袋(90g) (DHA:98mg,EPA:351mg,計1332mg、GABA:12.3mg)
販売開始	令和6年3月9日	令和6年5月1日	令和6年6月1日
商品パッケージ			

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部 研究開発課
高松市林町2217-43 RISTかがわ1F TEL.087-869-3440 FAX.087-869-3441

財団の活動報告

新かがわ中小企業応援ファンド等事業 令和6年度の助成対象事業決定

財団では、「新かがわ中小企業応援ファンド」等を活用して、県内の中小企業者が行う研究開発や販路開拓に対する支援を行っています。令和6年度の助成事業のうち、下記の助成メニューについて募集を行ったところ12件の申請があり、審査の結果、助成対象事業を次のとおり7件決定しました。

(1)地域資源活用輸出商品開発支援事業

【採択5件(申請10件) 採択額7,844千円】

(事業者名による五十音順)

事業名	事業者名(所在地)	採択額(千円)
1 庵治石の魅力を世界に発信し、新たな価値創造に貢献する	株式会社蒼島(高松市)	2,000
2 「ハーフdip/バウムクーヘン」開発及び販路開拓	株式会社エフディアイ(三豊市)	1,824
3 「海外市場に向けた高付加価値商品・『オリーブサーモンと瀬戸内レモンを使用した塩麹漬け』の開発と販売を目指す」	株式会社瀬戸水産(三豊市)	1,520
4 日本が誇る小豆島の手延べそうめんをバンコクへ	有限会社フモト(小豆郡土庄町)	500
5 瀬戸内の「香川県産ブランド海産物」を海外に送り出す輸出商品の研究	株式会社八栗(高松市)	2,000

(2)海外見本市出展支援事業(県補助金活用)

【採択2件(申請2件) 採択額1,600千円】

(事業者名による五十音順)

事業名	事業者名(所在地)	採択額(千円)
1 瀬戸内で活躍する現代アーティスト作品の海外展開事業	株式会社瀬戸内アートコレクティブ(高松市)	800
2 呼吸センサ(SuuHaa)の海外出展事業	株式会社モーリス(観音寺市)	800

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL. 087-868-9903 FAX. 087-869-3710

財団からのお知らせ

新かがわ中小企業応援ファンド等事業 令和6年度後期助成事業の募集

県内の中小企業者が取り組む新商品・新技術の開発や、市場性を見極めるための試作品作成などを支援します。皆様の積極的な御応募をお待ちしております。

募集メニュー 新分野等チャレンジ支援事業

県内の中小企業者が取り組む新商品・新技術の開発や、市場性を見極めるための試作品作成などを支援し、新分野等への挑戦を後押しします。

【助成対象経費※】 研究開発費、販路開拓費(助成対象経費合計額の50%以下)

※助成対象経費の詳細については、財団ホームページ等でご確認ください。

【助成率・額】 2/3以内、50万円以上200万円以下

【助成の対象となる事業の期間】 令和6年10月1日から最長で令和7年9月30日まで

【採択予定件数】 4件程度

募集期間 令和6年6月21日(金)～令和6年8月22日(木)17時必着

申請される場合は、財団ホームページ(<https://www.kagawa-isf.jp/support/fund/newfund/>)

又は2次元コードから申請登録を行ったうえで、所定の申請書と添付書類を募集期間内に

提出してください。申請書等の詳細については、財団ホームページ等でご確認ください。

(インターネット環境が整わない等で申請登録ができない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。)



助成の対象となる事業の決定

書類審査及びヒアリング等の後、専門家等で構成する審査委員会での審査を経て決定します。申請者は審査委員会での事業説明(プレゼンテーション)を行っていただきます。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710

農山漁村発イノベーション都道府県サポート活動事業「人材育成研修会」の開催

香川県の農山漁村の活性化を図るため、活用可能な農山漁村の地域資源を発掘し、磨き上げた上で、これまでにない他分野と組み合わせる取組等、農山漁村の地域資源を最大限に活用し、新たな事業や雇用を創出する「農山漁村発イノベーション」に取り組む人材の育成を目的に、研修会を開催します。

なお、内容に関心のある方ならどなたでも参加いただけます。

第1回 研修会

開催日時 令和6年8月27日(火) 13:30～15:30
開催場所 香川産業頭脳化センタービル1階 専門研修室(高松市林町2217-15)
講演 「機能性表示食品等開発の取組について」
 公益財団法人かがわ産業支援財団 事業化支援アドバイザー 関谷 敬三

第2回 研修会

開催日時 令和6年9月10日(火) 13:30～15:30
開催場所 香川産業頭脳化センタービル1階 専門研修室(高松市林町2217-15)
講演 「地域活性化で経営が成り立つ優良事例について」
 特定非営利活動法人DREAM ISLAND 理事長 立花 律子 氏

第3回 研修会

開催日時 令和6年10月1日(火) 13:30～15:30
開催場所 香川産業頭脳化センタービル1階 専門研修室(高松市林町2217-15)
講演 「SNSを活用したEコマースの取組について」
 かがわ農山漁村発イノベーションサポートセンター 地域プランナー 豊田 浩伸

定員

各回10人
程度

申込方法については、財団のホームページをご確認ください。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710

「第2回 機械要素技術展[九州]」香川県ブース出展者を募集

香川県の主要な産業である、ものづくり基盤技術関連企業の成長分野等(エネルギー・環境関連分野、ロボット関連分野、自動車関連分野など)への進出等を支援する取組として、関連企業が多く集まる展示商談会である「第2回 機械要素技術展[九州]」に香川県ブースの出展を予定しています。

出展展示 商談会

開催日時 令和6年12月11日(水)～13日(金)
開催場所 マリンメッセ福岡(福岡県福岡市博多区)
主催 RX Japan株式会社

募集概要

募集出展者数 6者程度
出展対象者 県内に本社又は事業所を有する中小企業者であり、かがわ次世代ものづくり研究会会員であること など
出展者決定 申込内容について、審査委員会において書類審査の上、出展者を決定します。
出展者負担 出展負担金(60,000円)、自社展示経費、製品・販促資材等の輸送費、旅費、宿泊費 など
募集期間 令和6年6月14日(金)～7月26日(金)
応募方法 以下のURLにアクセスし、必要事項を記入して送信ください。
 折返し、担当者から応募書類提出専用ページのURLをお知らせいたします。
<https://kagawa-isf.form.kintoneapp.com/public/kagawa-ex>
 なお、募集の詳細については、「出展者募集要項」をご参照ください。

出展申込フォーム



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 研究開発支援課
 高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

食品商談会参加者の募集

県内食品産業の販路開拓支援を目的に、県内外のバイヤー等を招聘して、食品商談会を開催します。

事前マッチングの時間割でセラーがバイヤーと個別面談する「商談会」と、セラーが商品展示ブースを出展し、バイヤーが巡回しフリー面談する「見本市」を同時開催します。



- 開催日時** 令和6年9月12日(木) 10:00～17:00(予定)
- 開催場所** JRホテルクレメント高松「飛天」の間
- 主催** (公財)かがわ産業支援財団、香川県、(株)百十四銀行、(株)香川銀行、高松信用金庫、観音寺信用金庫
- 参加予定数** バイヤー 40社程度、セラー 60社程度
- 参加費** 3,300円 ※コンセント利用時 別途2,200円
- 申込締切日** 令和6年7月19日(金) ※応募者多数の場合は抽選といたします。

申込方法については、財団のホームページをご確認ください。

お問い合わせ先

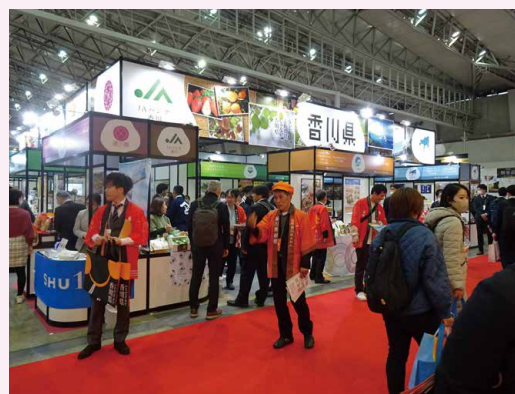
公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710

スーパーマーケット・トレードショー2025出展者の募集(予定)

国内最大級の食品関連見本市「第59回スーパーマーケット・トレードショー2025」に、公益財団法人かがわ産業支援財団及び香川県等が県内企業を集めた香川県ブースを出展するに当たり、出展者を募集します。

- 開催日時** 令和7年2月12日(水)～14日(金)の3日間
- 開催場所** 幕張メッセ(全館)
- 出展者数** 20社程度
- 出展者負担金** 88,000円(その他出展時に必要な経費等)
- 申込締切日** 令和6年9月13日(金)(予定)

応募が始まり次第ホームページに掲載する「国内商品見本市出展事業 出展者募集要項」及び「国内食品見本市出展事業 香川県ブース出展規程」をご参照ください。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710

「四国モノづくり合同商談会2024 in EHIME」参加発注企業の募集

四国4県が合同で、中小企業の広域的な取引促進を図るための商談会「四国モノづくり合同商談会2024 in EHIME」を開催します。商談会開催に先立ち、発注企業を7月12日(金)まで募集しています。

【開催概要】

- 開催日時** 令和6年11月27日(水) 10:00～17:00
- 開催場所** アイテムえひめ 小展示場(愛媛県松山市大可賀2丁目1番28号)
- 主催** (公財)とくしま産業振興機構、(公財)かがわ産業支援財団、(公財)えひめ産業振興財団、(公財)高知県産業振興センター
- 参加予定数** 発注企業 70社
受注企業 150社(四国4県の中小企業)【後日募集予定】

WEBサイト <https://x.gd/HFJRY>



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

国際取引相談窓口の紹介

国際ビジネスに精通した経験豊富な専門家が、香川県内に事務所のある企業等の海外事業展開についての御相談に応じます。訪問相談はもちろん、オンライン相談も受け付けております。

国際取引支援アドバイザーの紹介

久保 克己 氏

MCPクオリア株式会社代表取締役
専門分野は、食料・食品の生産者・製造者・販売者への輸出入を含むマーケティング活動



座間 安紀夫 氏

株式会社ハートクオリア代表取締役
専門分野は、産業機械、化学品関連(医薬・医療関連を含む)、IT、IoT・AI関連、教育関連



国際取引
相談申込フォーム



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 海外展開支援室
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

令和6年度「商品化技術テーマ調査事業」の募集

県内の企業等が、商品化を目的とした技術テーマについて、大学・高専・公設試験研究機関等と連携して調査・開発する場合、その調査研究費を助成する事業を募集します。ぜひご活用ください。

- 応募方法** 所定の申請書様式に必要事項を記載のうえ、当財団へご提出ください。
申請書様式等は、当財団のホームページ(<https://www.kagawa-isf.jp>)の「助成金活用」-「商品化技術テーマ調査事業」からダウンロードできます。
- 募集期間** 令和6年7月1日(月)～令和6年8月30日(金)必着
- 対象者** 県内に事業所を有する企業、団体及び住所を有する個人
- 対象事業** 助成対象者が行う大学等学術研究機関又は公設試験研究機関等との共同研究体制にある事業
- 助成率・額** 助成率4/5以内 助成金額100万円以内
- 助成期間** 交付決定日(令和6年10月予定)から令和7年9月30日まで
- 対象経費** 原材料費、構築物費、機械装置・工具器具費、外注加工費、研究委託費、調査委託費、調査旅費、販路開拓費 ほか
- 選考** 書類審査及び専門家等で構成する技術審査会を経て決定します。
申込者は技術審査会で事業説明(プレゼンテーション)を行っていただきます。
- 採択件数** 3件程度
- 採択通知** 令和6年10月上旬に申請者宛に通知予定

募集ページ



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

第32回「芦原科学賞」表彰対象者の募集

故 芦原義重氏(関西電力名誉会長、香川県名誉県民)からの寄附金を基金として、香川県内の産業技術の高度化及び産業の振興に寄与することを目的とした「芦原科学支援事業」を実施し、芦原科学賞を授与しております。

第32回目となる「芦原科学賞」の表彰対象者を募集いたしますので、各企業・団体等の代表者様からの積極的な御推薦・御応募をお待ちしております。

芦原科学賞の種類と顕彰内容

芦原科学大賞	芦原科学功労賞	芦原科学奨励賞
◦賞状と楯の授与 ◦賞金200万円の贈呈	◦賞状と楯の授与 ◦賞金100万円の贈呈	◦賞状と楯の授与 ◦賞金50万円の贈呈

- 募集期間** 令和6年8月13日(火)～令和6年10月15日(火)
- 応募資格・応募方法** 詳細は後日、当財団ホームページ等でお知らせいたします。
- 選考方法** 書類審査及び外部の有識者、学識者等で構成する委員会を経て、各賞受賞者を決定します。
- 贈呈式** 令和7年2月予定



贈呈式



賞状授与

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

令和6年度「高度産業人材育成事業(IT研修)」の参加者の募集

公益財団法人かがわ産業支援財団では、「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」として、地域産業の技術の高度化を支援するため、高度産業人材育成事業を実施しています。その一環として、情報処理技術者等を対象とした、マネジメント系の「プロジェクトの計画とコントロール」や「演習を通して学ぶ、デザイン思考・アート思考」、プログラム系の「JavaScript」や「Python プログラミング」等の様々なIT研修を行います。多数の方の御参加をお待ちしております。

コース区分	コース名	定員	日数	研修概要	受講料・教材費 (円(税込))	受講対象者	日時	会場	
マネジメント	① プロジェクトマネジメント								
	M011	「プロジェクトマネジメントの計画とコントロール」 東京都立産業技術大学院大学 産業技術研究科 教授 三好 きよみ 氏	15	2日	企業・組織・個人の目標を達成するための、プロジェクトマネジメントの基本を体系的に学び、練習問題とグループ演習を通して、身近なプロジェクトに使えるようになることを目的とする。	4,950	興味のある方全て	9/19,20 9:00～17:00	香川産業頭脳化センタービル 専門研修室
	M012	「プロジェクトマネジメント演習」 筑波大学 ビジネスサイエンス系 准教授 木野 泰伸 氏	15	3日	事例や演習を通じて、プロジェクトマネジメントに必要なコンピテンシーを体験的に学ぶ。	7,150	プロジェクトメンバー、プロジェクトリーダーなどプロジェクトに関わる方及びプロジェクトと協働される方	10/30-11/1 9:00～17:00	香川産業頭脳化センタービル 専門研修室
システム下流(プログラミング)	② デザイン思考								
	M021	「演習を通して学ぶ、デザイン思考・アート思考」 香川大学 創造工学部 教授 大場 晴夫 氏	15	2日	「デザイン」や「アート」という概念は、ビジネスやエンジニアリングなど、あらゆる領域で応用され、企業でも導入するケースが増加している。このワークショップでは、「デザイン思考」や「アート思考」とは何か、どのような手法とプロセスがあるのか、また問題の種類によって適した活用方法などを、実例を通して紹介する。また同時に、鉛筆スケッチなど実際に手を動かす演習を通して、誰もが持っている感性を引き出す訓練を行う。左脳(論理性)と右脳(感性)の両方をバランス良く活用した思考スタイルを身につけ、課題を独自の視点で見出し創造的に解決する力を身につける。	4,950	興味のある方全て	8/29,30 9:00～17:00	香川産業頭脳化センタービル 専門研修室
	③ アプリケーション開発								
システム下流(プログラミング)	E031	「JavaScript」 香川大学 創造工学部 准教授 香川 考司 氏	15	2日	●JavaScriptの概要 ●JavaScriptの文法・制御構造・関数 ●JavaScriptによるDOMの操作 ●JavaScript API (Ajax, Canvas, WebStorage, …) ●JavaScript上のライブラリー ●ジェネレーター、非同期関数	4,950	何らかの言語でプログラミング経験のある方 ※パソコンの持ち込みが必要	8/8, 9 9:00～17:00	香川産業頭脳化センタービル 専門研修室
	E032	「Python プログラミング」 香川大学名誉教授 本田 道夫 氏	15	2日	●PythonとAnaconda ●開発環境 Visual Studio 2019(又は2022) ●コマンドプロンプト画面でのPythonの利用 ●Pythonの言語説明 ●数値、文字列、変数 ●リスト、タプル、辞書、集合 ●プログラムの制御構造、関数 ●モジュール、パッケージ、プログラム・クラスとオブジェクト ●ファイル入出力 ●ライブラリ ●NumPy ライブラリによる配列操作	4,950	C, C++, C#, Javaなどのプログラミング言語のいずれかを知っていることが望ましい。 ※パソコンの持ち込みが必要(6GB程度の空きがCドライブに必要)	7/11,12 9:00～17:00	香川産業頭脳化センタービル 専門研修室
ソリューション	④ 人工知能								
	S041	「人工知能入門・実践講座」 早稲田大学 澤田研究室 大学院生 五十嵐 治雄 氏 天野 創太 氏 永峯 佑真 氏 (早稲田大学 先進理工学部応用物理) 学科 教授 澤田秀之 氏	15	2日	受講生の持ち込みPCにTensorFlowなどの開発環境をインストールし、研修・自主学習を通じて、Deep Learningのプログラミングと活用事例を学ぶ。 ●受講生のPCへのディープラーニング開発環境の設定 ●実際の課題についてのプログラミング ●ニューラルネットワークの原理、数学的基礎、ディープラーニングへの展開に関するレクチャー ●機械学習の事例紹介	4,950	Pythonの基礎知識をお持ちの方 ※パソコンの持ち込みが必要	8/22, 23 9:00～17:00	香川産業頭脳化センタービル 専門研修室
	⑤ VRコンテンツ制作⇒生成AI								
ソリューション	S051	「生成AI活用講座」 株式会社DynaxT 古川 友樹 氏 永山 和樹 氏	15	2日	【概要説明】●生成AIの動向と、LLM(大規模言語モデル)はどのような社会的な意味があり、どう利用すべきか。 【実習】●Pythonでプログラムを作成し、生成AIを自社用にカスタマイズします。(ベクターDBの利用とファインチューニングなど) ※ChatGPTを自社業務に特化するようにカスタマイズする手法について紹介する。(プログラミングコードの作成もChatGPTを活用)	4,950	Pythonの基礎知識、又は何らかの言語でプログラミング経験がある方。 ※パソコンの持ち込みが必要(Python3.9以降が動作)	11/19,20 9:00～17:00	香川産業頭脳化センタービル 専門研修室
	⑥ ウェブ開発								
IoT	S061	「WordPress開発講座」 TCかがわ 岩倉 洋平 氏	15	2日	WordPressは世界でもっとも利用されている CMS(コンテンツ管理システム)で、ウェブサイトを簡単に構築できる。本研修では、さらにPHPを利用したカスタマイズなどを行い、より自由なウェブサイトの構築について説明する。	4,950	ウェブサイトの構築担当者 ※パソコンの持ち込みが必要	7/25, 26 9:00～17:00	香川産業頭脳化センタービル 専門研修室
	S071	「IoTシステム構築講座」 四国職業能力開発大学校 生産電子情報システム技術科 能力開発教授 玉井 瑞又 氏 能力開発教授 中村 優 氏	10	2日	IoTシステムの構築にあたり、必要となる全般知識を身につけるとともに、実際に各種センサ(温度、圧力、光、距離等)やマイクロコンピュータ(M5Stack)を用いて、データ収集、可視化(Node-RED)、分析までIoTシステム構築の全般について体験する。また、AI等を用いた収集したデータの分析手法についても紹介する。	4,950	IoTシステムの構築に興味がある方(プログラミングの知識は不要)	7/17～18 9:30～16:30	香川産業頭脳化センタービル 専門研修室
ネットワーク	⑦ ネットワーク機器								
	N081	「ネットワーク(LAN)の設定・構築実習」 香川職業能力開発促進センター 電気・電子系 若松 邦幸 氏 瀧口 陽平 氏	10	3日	ネットワーク(LAN)の知識を習得するとともに、LANケーブルの作成、L2、L3スイッチやルータなどのネットワーク機器の設定を、実習機器を使いながら習得します。 ●主な実習用ネットワーク機器 ●L2およびL3スイッチ(アライドテレシス社製) ●ルータ(Cisco社製) ※特定メーカーの認定資格講習ではありません	7,150	ネットワーク(LAN)の設定・構築技術について学びたい方 ※前提条件: IPアドレスの基礎知識	10/2～4 9:30～16:30	香川職業能力開発促進センター (※)

注: 新型コロナウイルスの感染拡大状況により、開催中止や開催日程・開催方式の変更を行う場合があります。

【会場】香川産業頭脳化センタービル1階 専門研修室(高松市林町2217-15) <https://www.kagawa-isf.jp/access/>

※香川職業能力開発促進センターは、駐車場に限りがあるため、可能であれば公共交通機関でのご来所をお願いいたします。

香川職業能力開発促進センター(高松市花ノ宮町2丁目4-3) <https://www.3jeed.go.jp/kagawa/poly/access.html>

【お申込み方法】●お申込み期限は、N081コースについては受講開始日の3週間前まで、その他のコースについては受講開始日の原則2週間前までです。

- 各コースとも定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申込みください。
- 受講申込書に必要事項を御記入のうえ、郵送、FAX、E-mail又は窓口持参にてお申込みください。

申込フォームから
お申込みください。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 企画情報課

高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9901 FAX.087-869-3710 E-mail.kikaku@kagawa-isf.jp

～中小企業・小規模事業者の方々へ～

香川県よろず支援拠点をは是非ご利用ください!!

香川県よろず支援拠点では、経営、創業、商品開発、補助金活用などをはじめとした相談業務を行っており、さまざまな業種の事業者や起業を考えている方など、たくさんの方々にご利用いただいています。

拠点本部及び常設サテライト以外にも、コーディネーターによる出張相談が行えるサテライトを県内5か所に設置しておりますので、経営のお困りごとがございましたら、分野にかかわらず、拠点本部、常設サテライト及びお近くのサテライトをお気軽にご利用ください。

中小企業・小規模事業者・個人事業主のみならず
よろず支援拠点は、国が設置した無料の経営相談所です

Web・電話・メールなどでも相談対応可能

香川県 よろず支援拠点

専門家が、経営課題に応じて、専門家が、無料で、何度でも、相談対応!

相談してよかった!

95%が相談に満足と回答
83%が成果があったと回答
(料金を支払った方とは別)

令和5年度4月から9月までに香川県よろず支援拠点をご利用いただいた皆様への相談意向アンケート結果

予約制 1.お電話→2.担当の専門家を予約

087-868-6090

※HPからも相談申し込み可能です。

ご予約時に企業名、お名前、ご相談内容、ご相談可能日時をお伝えください。

■住所 | 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F
■URL | <https://www.yorozu-kagawa.go.jp/> ■MAIL | yorozu@kagawa-isf.jp ■利用時間 | 平日8:30～17:15

**SNS登録で
もっと便利!**

HPは FBは LINEは

2024.4

3つの常設相談所・5つの出張相談所で相談可能!

よろず支援拠点3つのポイント

- 総合的・先進的な、経営アドバイスを提供
- 皆様のための、課題解決チームを編成
- 課題に応じた、ワンストップサービス

常設拠点・常設サテライト (土日祝休み)

香川県よろず支援拠点 本部

〒760-0827 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2階

ディレクター 矢野 綾洋	コーディネーター 岡田 樹一郎	コーディネーター 岡本 陽	コーディネーター 川西 健雄	コーディネーター 川端 あずさ	コーディネーター 島谷 美保	コーディネーター 筒井 恵
-----------------	--------------------	------------------	-------------------	--------------------	-------------------	------------------

Setouchi-i-Base常設サテライト

〒760-0827 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2階

ディレクター 新聞 勝之	コーディネーター 小笠原 大知	コーディネーター 渋谷 信人	コーディネーター 城石 東純	コーディネーター 中村 陽介	コーディネーター 松尾 隆志	コーディネーター 松岡 亜紀子
-----------------	--------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	--------------------

中讃マルタス常設サテライト

〒760-0827 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2階

ディレクター 豊田 浩伸	コーディネーター 秋田 勝司	コーディネーター 柴田 直美	コーディネーター 藤村 靖治	コーディネーター 三宅 孝治
-----------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

ご予約はHPからも可能です

共通予約電話番号 本部 087-868-6090

サテライト (出張相談所) ※毎月1～2回程度開催

東かがわサテライト 東かがわ市役所2階相談室	電話 0879-26-1276
小豆島サテライト 小豆島町役所本館1階相談室	電話 0879-82-7021
まんのうサテライト まんのう町商工会館1階相談室	電話 0877-73-3711
三豊サテライト 三豊市商工会 (インバブルの)	電話 0875-72-3123
観音寺サテライト 観音寺市役所内相談室	電話 0875-23-3933

香川県よろず支援拠点での支援事例について

テーマ	老舗レグウェアメーカーのボトルネック工程改善における生産性向上の取り組み	  
相談者	香川シームレス株式会社 代表取締役社長 金地 祐一郎 様 丸亀市飯山町川原825-1 TEL:0877-98-2571	
課題	コロナ禍の影響で、受注数・生産量が激減しており、生産設備、人員も縮小していた。コロナ後の受注増に対して、生産が追いつかず、派遣社員、残業、休日出勤などでカバーしていたが、コスト高、製造現場の負担となっていた。生産性の向上と業務の効率化が喫緊の課題であった。	
支援のポイント	● 現行の縫製工程において、自動縫製機が生産量、生産効率に悪化していることが判明した。ボトルネック工程である「縫製工程の生産性向上」を課題設定し、工場長を中心とした工程改善のためのプロジェクトチームを結成し、改善会議に参画して支援を行った。 ● 改善会議において、プロジェクトチームの自主性を尊重し、傾聴の姿勢でファシリテートすることを心掛けた。また、現場の声をくみ上げるため、作業者とのワンオンワンミーティングを行い、改善活動と並行して従業員の育成を念頭に置くことにも留意した。	
成果・現況	● 生産性向上の成果としては、縫製実績として生産数量が前年比130%増、及び不良品数は前年比約89%であった。 ● 今後の展望として、作業基準書や作業マニュアルの改訂により、各作業者間の縫製実績のバラつきを少なくする取り組みを予定している。	
相談者の声	よろずコーディネーターがファシリテート役となることでプロジェクトチーム会議が形骸化することなく定期開催されている。また毎回会議での決定事項のモニタリング及び課題の遂行が習慣化されることで、プロジェクトチーム活動が組織活性化に繋がっている。	

お問い合わせ先

香川県よろず支援拠点 高松市林町2217番地15 香川産業頭脳化センタービル2F
TEL.087-868-6090 FAX.087-869-3710 mail.yorozu@kagawa-isf.jp

令和6年度「かがわ成長する企業大賞」候補企業の募集

県では、特徴的な製品やサービスの開発などの優れた取組みにより、成長を続けている県内の中小企業の認知度を高めるとともに、従業員等の意欲の向上を図るため、表彰制度「かがわ成長する企業大賞」を設けています。今年度も、「ものづくり部門」、「商業・サービス部門」、「奨励部門」の各部門において、候補企業を11月29日(金)まで募集しますので、ぜひ御応募(自薦、他薦)ください。

詳しい内容や
応募方法は
こちらから→



令和5年度「かがわ成長する企業大賞」受賞企業のご紹介

ものづくり部門：FGROW JAPAN株式会社

事業内容

水産物を中心とした惣菜製造業社として、2001年の創業以来培ってきた加工製造技術で、主要商品の海老の寿司ネタ加工においては、業界内でトップシェアを誇っております。BtoC向けのWEB販売【海老乃家】を展開、閉鎖循環式陸上養殖ユニットの導入・実証、ハラル認証を取得し、ハラルフードの開発など、「持続可能な社会の実現を目指し、食を通じて人の幸せに貢献します」という企業理念の実現とグローバル化を目指しております。

企業の評価のポイント

受賞企業は、殻剥きエビの分野において、国内トップシェアを有しています。近年では、業界初の水流拡販式自動殻剥き機を開発し、加工の効率化を図る一方、「エビ殻の軟化処理」も実現させ、新たな製品化にもつなげています。さらに、Web販売等の事業の展開も進め、順調に売り上げを伸ばして、成長を続けています。



◀生食できる天然むき海老を中心に洗練されたパッケージでお届けしている海老乃家。



▲自然エネルギーを使用しサステナブルな水産業を実現した次世代型養殖技術の「ARK」。

商業・サービス部門：株式会社白洋舎

事業内容

高松市を中心に60店舗(直営19店舗)を展開するクリーニング会社です。多種多様な一般家庭用衣服のクリーニングをメインに、寝具類のクリーニングや洋服のお直し、革製品のメンテナンスなど幅広く手掛けています。また、創業以来守り続けている「御用聞き精神」を強みに、直接お客様の個人宅を訪問する宅配クリーニングをはじめ、高齢化が進む地域のニーズに応えるさまざまな生活サポートサービスを提供しています。

企業の評価のポイント

受賞企業は、宅配クリーニングや訪問営業を主としたサービスを提供しています。近年では、ホテルのリネンサプライ事業や、医療介護施設を運営する法人向けにユニフォームのレンタルサービスを開始するなど、他社と差別化した、新たなサービスの開発・提供に積極的に取り組み、成長を続けています。



▲白洋舎本店外観



▲本社工場外観



▲本社工場生産現場

奨励部門(※1)：建ロボテック株式会社

事業内容

「世界一ひとにやさしい現場を創る」をミッションに建設現場出身の創業者が平成25年に設立した、建設現場の課題を解決する省力化・省人化ソリューションを開発・提供するベンチャー企業です。現場経験を活かし、現場環境に合った確実に稼働するソリューションを提供します。人とともに働く協働型ロボット「トモロボシリーズ」や企業への開発協力など、「生産性向上」と作業者の「安全確保と負担軽減」を実装力あるソリューションを通じて、建設産業の進化・発展を目指します。

企業の評価のポイント

受賞企業は、建設現場の困りごとを解決する省力化・省人化ロボットを開発、販売しています。大手建設会社等との共同開発を行っており、新聞、雑誌等様々なメディアで取り上げられ、海外でも注目される企業です。創業時から売り上げは増加傾向で、近年では従業員数も増加し、成長を続けています。



▲建設現場で実際に稼働する「鉄筋結束トモロボ」



▲米国の世界最大の建設見本市WOCに出展した様子。トモロボの存在は海外でも注目を浴びています。

(※1)奨励部門は、上記の2部門の業種のいずれかに該当し、従業員数(パート従業員を含む)が20名程度以下の中小企業者。

お問い合わせ先

香川県 商工労働部 産業政策課
TEL.087-832-3351 FAX.087-806-0210

かがわ発! 元気創出企業

香川県内の元気な企業を訪問し、その企業が発展してきた過程と躍進を続ける今、そして未来への指針についてお聞きする「かがわ発! 元気創出企業」。

今回は、高松市にある「有限会社高島産業」を訪ねました。

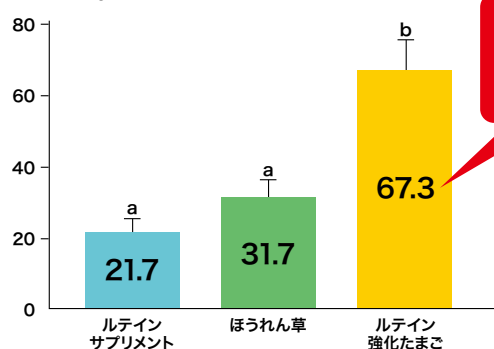


大正11年の創業時に建てられ、かつては卵の孵化や育雛場として使われていた建物

目の健康をサポートする天然のルテインが10倍! 毎日手軽に摂り続けられる機能性表示食品を開発

有限会社高島産業は、1922年(大正11年)に卵を孵化させヒヨコとして販売する孵卵業とそのヒヨコを親鶏まで育て採卵し鶏卵販売を行う採卵養鶏業として創業。1968年には、育雛から成鶏まで一貫生産を行う農場として会社を設立。以来、四国最大規模の専業採卵養鶏場として、年間1万トン以上の鶏卵を生産している。100年にわたって生まれたてのヒヨコから自家育成することで健やかに成長した親鶏が生んだ、安全かつ新鮮な卵を販売してきた同社。100周年を迎えた2022年(令和4年)に、その集大成ともいえるルテイン10倍卵「あらん」を開発・販売している同社の高嶋浩司社長にお話を伺った。

血中ルテイン濃度増加量の比較
(nmol/L/mg投与量)



b,aに対して有意差あり(P<0.05)
出典: Chung HY et al., J.Nutr., 2004, 134:1887-1893より

ルテインを
サプリメントの
3倍吸収!

毎日2~3個 食べるだけで

曾祖父の代から100年もの間、養鶏に携わってきた同社。約70万羽もの鶏を飼育し、これまでもさまざまな機能や顧客ニーズに応える卵を販売してきた中に、2005年に生産販売を開始した「ルテイン3倍卵」があった。ルテインとは、天然色素の一種で、光の刺激から目を保護する網膜色素(黄斑部)を増やす働きをもつ成分。体内ではつくり出すことができない成分だが、モロヘイヤやケールなどの緑黄色野菜などに多く含まれている。鶏卵にはこのルテインが元々含まれており、ルテイン強化卵は同社以外でも販売、市場に流通しているものだ。「ただ、人体において目の保護に効果が出ると言われているルテイン量を摂取しようとする、通常の卵だと20個も食べないといけないんです。とてもじゃないけど現実的じゃないでしょう」と話す高嶋社長。実は、数年前から目の調子が良くないと奥様から相談を受けていたという高嶋社長。「ルテイン3倍卵を食べたら?と提案したが3倍卵でも1日8個ほど食べる必要がある。そんなには毎日食べられないと却下されました」。そこで高嶋社長は「1日2~3個にして」という妻の一言で、「よし! ルテインが10倍含まれている卵をつくろうと思いついた」という。



有限会社高島産業

代表者 高嶋 浩司氏
所在地 高松市香川町川東上379
電話番号 087-878-1170
<http://www.t-egg.com/>

代表取締役社長
高嶋 浩司氏



本社の奥にある「福德の神」卵の像。
七福神とともに高島産業の未来を見守っている



山中先生あらん三食丼



山中先生あらんトマト卵
ジェヌヴィエーヴ・キュージヌ山中先生による「あらん」を使ったレシピ



一般の卵と「あらん」を比較すると、卵黄の発色がより鮮やかなのがわかる



現在の採卵鶏舎。鳥インフルエンザ対策には余念がない



「あらん」は、県内外スーパーマーケットなどの他、オンラインショップでも購入できる機能性表示商品（届出番号：H85）「あらん」「ARAN」は高島産業さんの登録商標です。

約2年を費やして コツコツと挑戦

「ルテイン含有量が通常の卵の10倍になれば、機能性表示食品として承認されるのではないか。」そう考えた高嶋社長は、(公財)かがわ産業支援財団内にある新機能性表示食品開発相談センターへ相談。専門家によるサポートを受けながら2020年に開発をスタートさせた。鶏卵中にルテイン含有量を増やすため、ルテインを含む植物を特別に配合した餌を鶏に食べさせるなど、地道な研究開発と試験を繰り返したが、それから1年半以上、試行錯誤は続く。「8倍程度までは数値が上がるんですが、そこからはどうしても全く上がらないんですよ。」当初から創業100周年のタイミングでの販売開始を考えていたという高嶋社長。だが、2021年後半になっても結果が出ない。「そこで配合率を見直すとともに独自の工夫をプラスして、餌を配合してもらったんです。」この配合でルテイン含有量が10倍を超えなければもう開発は難しいかもしれない、そう思いながらのチャレンジだった。

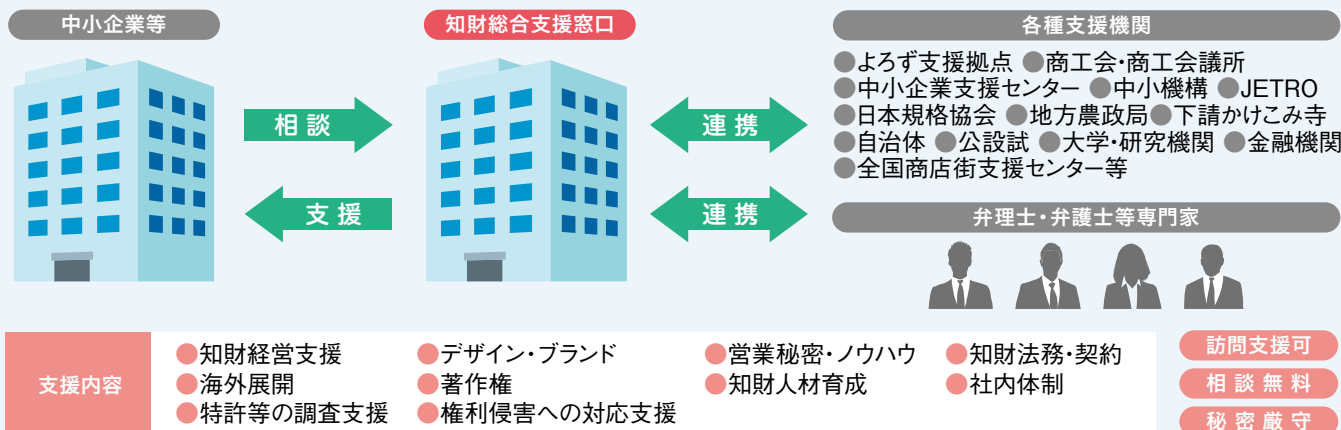
ついに完成した ルテイン10倍卵

2022年2月の検査でついに基準としていた数値を超え、十分なルテイン量を含むことが確認された。早速、機能性表示食品の届出手続きを行ったが、前例がない食品であることから簡単には受理されない。その高いハードルを超えられた理由は、自社で2005年から販売を続けていた「ルテイン3倍卵」の存在だった。17年もの間、ルテインによって人体に害を及ぼしていないという事実が後押しになり、無事に届出が受理された。奇しくも創業月と同じ4月のことだ。「ルテインは元々自然界に存在し、鶏卵にも含まれる成分。餌に含まれたルテイン量を変え、さらに配合を工夫したことで、鶏が本来持っている力を引き出すことができたんです。」さらに、INPIT知財総合支援窓口の支援のもとで、このルテインが10倍の卵について特許を出願するとともに、奥様が考えた「あらん」という名称で商標登録も行い、販売がスタートしたのは、同年11月。目標にしていた100周年に、県内外のスーパーや百貨店の店頭と並んだ。翌2023年には東京や大阪でも取り扱われるようになり、海外への販路拡大を見据えて、かがわ産業支援財団が実施する「中小企業等外国出願支援事業」を活用し、外国商標「ARAN」を数か国で取得した。同10月には香港で、11月にはドバイの高級ホテルでも提供されるようになった。大切な家族の目の健康を考えるとところから生まれた「あらん」は、日本全国、そして世界に広がり、食による社会貢献を担い続けていく。

INPIT(いんぴと) 香川県知財総合支援窓口の紹介

INPIT香川県知財総合支援窓口では、中小企業等が抱える様々な経営課題について、自社のアイデア、技術、ブランド、デザインなどの「知的財産」の側面から解決を図ります。

また、より専門的で高度な支援が必要な相談には、弁理士、弁護士等の専門家や支援機関と連携して、協働して支援を行います。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 INPIT香川県知財総合支援窓口
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル1F TEL.087-802-3650 FAX.087-867-9365

海外出願支援事業(令和6年度事業)の募集

県内の中小企業等が行う外国出願(特許、実用新案登録、意匠登録、商標登録、冒認対策商標)にかかる費用の一部を助成する「令和6年度海外出願支援事業」を募集しています。

募集期間	第1次募集	第2次募集	第3次募集	注意
	令和6年 5月20日(月)～6月21日(金)	令和6年 7月16日(火)～8月23日(金)	令和6年 9月24日(火)～10月25日(金)	予算額に達した時点で 受付を終了します。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル1F TEL.087-867-9332 FAX.087-867-9365

知的財産を経営に活かす!!「かがわ知財経営塾」を開催予定(製造業以外の方にも幅広くお役に立ちます)

知的財産の活用により企業競争力の強化を促進するため、日本弁理士会の協力を得て、知的財産の活用に関心のある経営者等を主な対象としてセミナーを開催します。今年度はビジネス拡大のための意匠・商標を含めた知的財産の確立・活用判断に不可欠な審査基準、令和5年知財関連法改正点のポイント、知財侵害警告を受けた場合の対策、知財のオープン・クローズ戦略等に関する内容で、一部ワークショップ形式で参加者同士による意見交換も行なうので、教科書にない、より実践的な内容も修得できます。

当日は、セミナー終了後INPIT知財総合支援窓口担当による個別無料相談会も行います。

受講料は無料ですので、下記問い合わせ先までお気軽にお申し込みください。

	開催日	開催場所	テーマ	講師	定員
第1回	令和6年9月19日(木) (13:30～15:30)	香川産業頭脳化センタービル2F 一般研修室	知的財産活用でビジネス拡大を! -自社技術の進歩性、類否判断等のために知っておくべきポイントと最近の知財関係法等の動向	松島国際特許事務所 弁理士 松島 理 氏	30名
第2回	令和6年9月26日(木) (13:30～15:30)		さあどうする!自社製品に知的財産権侵害の警告を受けたら -知財侵害判断と対応策、そうならないための注意点	弁理士法人山内特許事務所 弁理士 山内 康伸 氏	30名
第3回	令和6年10月10日(木) (13:30～15:30)		知財のオープン・クローズ戦略と知財維持管理 -開放特許の活用と契約等注意すべき盲点	松島国際特許事務所 弁理士 松島 理 氏	30名

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産普及課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル1F TEL.087-869-9004 FAX.087-867-9365

総務部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル1F・2F

総務課

TEL.(087)840-0348 FAX.(087)869-3710

施設管理課

TEL.(087)869-3700 FAX.(087)869-3703

企画情報課

TEL.(087)868-9901 FAX.(087)869-3710

ファンド事業推進課

TEL.(087)868-9903 FAX.(087)869-3710

企業振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル2F

企業支援課

TEL.(087)840-0391 FAX.(087)869-3710

取引支援課・海外展開支援室

TEL.(087)868-9904 FAX.(087)869-3710

技術振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-16
FROM香川1F

産学官連携推進課・研究開発支援課

TEL.(087)840-0338 FAX.(087)864-6303

地域共同研究部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-43
RISTかがわ1F

研究管理課・研究開発課

TEL.(087)869-3440 FAX.(087)869-3441

知的財産支援部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル1F

知的財産支援課

TEL.(087)867-9332 FAX.(087)867-9365

知的財産普及課

TEL.(087)869-9004 FAX.(087)867-9365



印刷:香川印刷株式会社